

Ensemble Copain

The 12th Regular Concert

～アンサンブル コパン 第12回定期演奏会～



2022年3月19日（土）

開演 13：30（開場 13：00）

川西市 みつなかホール

ご挨拶.

本日はお忙しい中、アンサンブルコパン第12回定期演奏会にお越し頂き有難うございます。平成元年発足以来33年、これも皆様の温かいご支援の賜物と団員一同感謝申し上げます。新型コロナによる影響もあり定期演奏会の中断も余儀なくされましたが、その間、感染対策を徹底し練習を重ねてまいりました。

今日の楽曲は I部オリジナル曲、II部一部管楽器とのコラボ、III部カンツォーネを含むポピュラー曲を準備しました。精一杯演奏したいと思いますので、どうぞ最後までお楽しみください。

アンサンブルコパン 会長 小田嶋 治

♪曲目及び解説

第I部

月なき夜

Angero Bettinelli 作曲

この曲は作曲者と同じくイタリア人のアルマンノ・モルラッキ編曲により1927年に発表されました。器乐的には単純ですが、とても情緒のあるタンゴです。

願いの叶う本

丸本大悟 作曲

作者は大阪生まれ。大学よりマンドリンを始め、この曲を「誰かに貸すことで貸した相手の願いが叶う本。純粋な優しさについて考えたことを曲想にした」と説明しています。

怯える小鳥

Giuseppe Fillippa 作曲

副題に「チリチチチ」と名付けられイタリアのハンター達に贈られたポルカ。終始小鳥の鳴き声を模した演奏はマンドリンにうってつけの曲です。

海の組曲

A. Amadei 作曲

海の組曲は水に縁のある神々をイメージした4楽章からなる曲です。

第1楽章 ニンフ達のセレナーデ 静かな海の妖精達は遊び楽しく飛び回っている。

第2楽章 波の精の踊り 妖艶な舞いは魅惑と夢幻にみちている。

第3楽章 シレーネの唄 船人達は美しいシレーネの唄に迷い、深い安らかな眠りに誘われていく。

第4楽章 トリトローネの追走 トリトローネは海を鎮めながら船人達を救う為に貝を鳴らしつつ駆け回る。

第II部

星に願いを

アルトサクソ 相良晴久

Leigh Harline 作曲

ディズニー映画『ピノキオ』の主題歌で世界中で親しまれている曲です。

きょうの演奏会ではアルトサクソをフィーチャー、ジャズ風に演奏します。

人生のメリーゴーランド

クラリネット 相良晴久

久石 譲 作曲

ジブリ映画『ハウルの動く城』の劇中メインテーマ。

きょうはクラリネットも加わり、ワルツを踊るように、メリーゴーランドが回るように演奏します。

アルハンブラの思い出

F. Tarrega 作曲

この曲はスペインの作曲家でギタリストでもあるフランシスコ・タルレガがアンダルシア地方グラナダの丘の上に建てられたアルハンブラ宮殿を訪れた時の思い出を元に作曲した、ギター独奏のための曲です。アルハンブラ宮殿はイスラム建築の最高傑作と言われており、世界遺産にも登録されている歴史的建造物。この宮殿を訪れたフランシスコ・タルレガは、息を呑むほど美しい庭園と綿密に刻み込まれた壁に一瞬で心を奪われてしまったのでしょうか。

今回はマンドリンアンサンブル用に編曲されたものを演奏します。

第Ⅲ部

ウィーン我が夢の街

R. Siecynesky 作曲

夕日に満ちたウィーンの景色を眺めていて作曲されました。ウィーンの人が自分の街を誇らしく歌う曲の一つでもあります。日本語にも訳され、鮫島有美子が歌っています。

雨

C. Conti/D. Pace 作曲

1969年にジリオラ・チンクェッティのシングルで発売されました。仏語、スペイン語、ドイツ語、英語などに訳されて、日本では、岸洋子、伊東ゆかりなど多くの歌手によって歌われてきました。

カタリ・カタリ

Salvatore Cardillo 作曲

有名なイタリア民謡で、カタリという女性に失恋した男性の「カタリ忘れないで下さい。君に捧げた心のことを・・・」と呼びかけるメロディーは、心にしみるものがあります。

懐かしきヴァージニア

James A. Blann 作曲

ジェームス・ブランはアフリカ系アメリカ人で、 minstrel show の楽団員でした。この歌は1940年から1997年まで、ヴァージニア州の州歌でした。

アリベデルチローマ

Renato Rascel 作曲

この曲は、1958年の米伊合作映画「ローマの七つの丘」で劇中歌として歌われ、世界的に大ヒットしました。イギリスから来た少女が、ローマの名所旧跡を訪ねて、やがて別れを告げるという歌詞です。「Arrivederci」はさようならと訳されますが、また会いましょうという意味です。

ステージメンバー

指揮 相良晴久

1st マンドリン 水谷真貴子 小田嶋治 河村晶子

2nd マンドリン 和田淳司 益永淳子 松田寛 今村千賀子

マンドラ 吉梅和子 井上敬蔵 寺田典子

マンドセロ 松井和澄 斎藤和代 (賛助出演)

ギター 井村正男 幸松純子 心石俊夫
勝又重喜 河上利昭 駒井優

コントラバス 井尻さゆり

パーカッション 西尾知子 (特別出演)

司会 谷沢敦子



プロフィール

指揮 相良 晴久(さがら はるひさ)

1974年(昭和49年)大阪音楽大学管弦打楽器科クラリネット専攻卒業
同年4月より2015年3月まで、池田市の小学校音楽専科教員を務めその間吹奏楽クラブ、
金管クラブ、器楽合奏クラブの指導にあたる。最初に赴任した呉羽小学校では保護者、池田市
からの要望に応え関西吹奏楽コンクールに参加、17年連続金賞を獲得し、全日本版フェスティ
バルにも毎年出演した。

その後は教室の音楽学習を大切にしたいと考え初等教育における音楽学習研究に努め「音楽の
楽しみ方」などの論文を発表。1994年に池田市文化功労賞受賞。現在はスクールバンドの
指導やマンドリン・ギターオーケストラ等の指揮者を務めながら、クラリネット、サクソ等
を通してジャズやクラシック音楽の研鑽にも努めている。

[特別出演]

パーカッション 西尾 知子(にしお ともこ)

大阪教育大学芸術専攻音楽コース打楽器科卒業 1997年、初リサイタル開催
1999年、国際芸術連盟主催第4回JILA音楽コンクール管打楽器部門第1位。ソロや、独
自のパーカッションアレンジにより、マリンバ・パーカッション奏者として幅広いジャンルで
活動している。舞台音楽にも多く関わり、ミュージカル「大いなる遺産」にて宮川彬良氏から
の依頼により演奏。

また劇団四季、宝塚歌劇、人形劇京芸で演奏。ファミリー向けミュージカルでは役者としての
演奏も行っている。池田市のばんまいにて、毎月「ほんわかティータイムライブ」開催中。
マリンバアンサンブル「MAR」(ま〜る)メンバーとして全国的に活動。NHK-FM「名曲リサイ
タル」出演。CD「MAR TONE」リリース。

アンサンブルコパン 沿革

1989年(平成元年)6月緑台公民館にてギターマンドリン合奏団として発足(コパンは仲間、友といった意味)
2015年より現指揮者相良晴久氏を迎え、指導のもとに楽しい演奏を目指し活動。従来のボランティア演奏、定
期演奏会などに加えてキセラホール開館記念コンサート参加など演奏回数も増え今日に至る。

1999年11月10周年記念演奏会 大阪桜ノ宮リバーサイドホテル

愛の喜び、古戦場の秋、アンダンテとポロネーズ、アンダルーサ、山嶽詩、ポールモーリア名曲集、
日本叙情歌集旅愁を主題とする変奏曲

..... 中略

2018年10月オータムコンサート(第9回定期演奏会)

グリーンハイツ第二自治会館

アラビアの隊商、マンドリニストの生活、
大幻想曲「麦祭り」、
旅愁、遠くへ行きたい、琵琶湖周航の歌、
ラバースコンチェルト、ドリコのセレナーデ、
パダムパダム、真珠採りのタンゴ

2018年11月キセラホール開館記念

オープニングフェスティバルキセラホール

アラビアの隊商、マンドリニストの生活、
大幻想曲「麦祭り」
(ギターアンサンブルコスモスとの演奏)

ラクンバルシータ、黒い瞳、ラバースコンチェルト、百万本のバラ、あの鐘をならすのはあなた

2019年10月オータムコンサート グリーンハイツ第二自治会館

愛の喜び、道化師、雪、瞑想、黒いオルフェ、パリの空の下セーヌは流れる、北の宿から、つぐない、旅情のボレロ、
ララのテーマ、ひまわり、愛のテーマ

2020年3月第10回定期演奏会 新型コロナ感染拡大のため中止

2020年12月第11回定期演奏会 みつなかホール

東洋風行進曲、侯爵夫人の館にて、ゴンドラ漕ぎ手の唄、波セレナータ、瞑想、パリの空の下セーヌは流れる、
つぐない黒いオルフェ、アマポーラ、シボネー、マイショール、ゴッドファーザーより愛のテーマ

